

# 薬の豆知識



## ～インクレチンの働きに着目したお薬について～

消化管（十二指腸や小腸、大腸など）から分泌されインスリン分泌を促すホルモンであるインクレチンについては古くから知られていたのですが、そのほとんどは **DPP-4** という酵素によって速やかに分解されてしまうため、薬として実用化するためには何らかの工夫が必要でした。そしてその工夫を施されたお薬が最近登場しました。

インクレチンに着目したお薬には現在 **2種類** あり、各々について特長等を説明します。

### ① **DPP-4 阻害薬（飲み薬）**

前述したように、インクレチンは DPP-4 という酵素によって速やかに分解されてしまいます。そのため、DPP-4 の働きを阻止する事によって、インクレチンの分解を防ぎ、かつ働きを強めるお薬が **DPP-4 阻害薬** です。

（当院では、**ジャヌビア、エクア、ネシーナ、トラゼンタ、テネリア**を採用しています。）

その特長は、

☆血糖値がある程度高い時にはインスリン分泌を促し、空腹時には強く作用しないため、低血糖をおこしにくい。

〔ただし、膵臓（すいぞう）のβ細胞を刺激して、インスリン分泌を促す飲み薬である **SU 薬**（当院採用品：グリメピリド、グリミクロン）等と併用した場合には、低血糖が起きる可能性がある。〕

そのため場合によっては、**SU 薬**（当院採用品：グリメピリド、グリミクロン）を減量する必要がある。〕

### ② **GLP-1 受容体作動薬（注射薬）**

GLP-1 受容体作動薬は、体内にあるインクレチン的一种である GLP-1 と同じように作用するお薬で、DPP-4 による分解を受けにくいように作られています。長期間の使用で体重を減少させる効果があるとされています。

（当院では、**ビクトーザ皮下注、バイエッタ皮下注、ビデュリオン皮下注**を採用しています。）

ただし **1 型糖尿病** など、インスリンを自ら分泌する力がない人には使えません。）

